

東京音楽大学大学院修士課程 入学試験

2026年度 共通科目試験 外国語 英語

模範解答

Part I.

A	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	F	T	T	F	T

B	(1)	(2)	(3)
	b	c	a

C	(i)	(ii)	(iii)
	a	b	c

Part II. Please answer the appropriate question according to your major. **DO NOT ANSWER BOTH QUESTIONS.** [30 points]

Question ① Music Cultural Studies Major (音楽文化研究専攻)

A	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	d	b	b	a	c

<b>B</b>	<p>J. C. バッハの作品 5 のような楽譜は、贅沢品だった。見事に印刷され、製本され、他の品物と比較しても、今日の楽譜よりも大変に高価なものであった。しかし、なぜ横長のフォーマットなのだろう？作品 5 が 1766 年に出版された際、これは珍しいことではなかった。現代の楽譜の縦長フォーマットも、バッハの時代の鍵盤作品に使われないわけではなかったが、印刷譜でも作曲家の自筆譜でも、横長フォーマット（今日ピアノ二重奏とオルガン音楽のみ標準的に用いられる）がより一般的だった。その理由は単純だ。横に長く伸びた五線であれば、音楽の進行が一目瞭然となるからで、これは現在の縦長譜ではできないことだ。</p>
----------	--

Question ②: All Other Majors (音楽文化研究専攻以外の全専攻)

A	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	b	d	b	c	a

B	期間	6週間
	対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱と演技に情熱のある18歳以上の者</li> <li>・初心者から経験者まで、幅広いレベルで開講</li> </ul>
	このコースで学べること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声楽のテクニック <ul style="list-style-type: none"> <li>・息と支えの基本</li> <li>・ベルト唱法や語るような歌い方など、様々な声質で歌うための方法論の構築</li> <li>・声域の拡張</li> </ul> </li> <li>・演技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストや詩の構造の分析</li> <li>・キャラクターとつながり、物語を語ること</li> <li>・いかに安全に感情に迫り、解放するか</li> </ul> </li> <li>・ホリスティック（全的）な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の声に対する自信をつけるための心理的アプローチ</li> <li>・演奏のための視覚化と精神的な準備</li> <li>・呼吸の瞑想</li> </ul> </li> </ul>

Part III. [20 points]

(1) 音楽は国や文化を超えて人々の心をつなぐ、普遍的なコミュニケーションの手段である。

Music is a universal means of communication that connects people across countries and cultures.

(2) 持続可能な社会を実現するには、個人の努力と制度的支援の両方が必要である。

In order to achieve a sustainable society, both individual efforts and institutional support are necessary.